



本村幼稚園 12月の園だより

令和5年 11月 30日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

ほんむら子供美術館へようこそ

園長 山崎 高志



今年最後のイベント「展覧会」が本日11月30日(木)と明日12月1日(金)に開催されます。あらかわ遊園の遠足で実際に乗った豆汽車からお化け列車へと想像を広げて「おばけ遊園地」を子供たちが作りました。ほと組とります組の全員で作成しました。作品の展示だけではなく展覧

会当日、それを動かしたり運営したりすることもやります。

さて、解剖学者の養老孟司さんが「人間には美とか調和を感じるDNAがインプットされている」と言っています。ですから、人間にとって表現活動というのは本来楽しいものなのです。それを周りからあだこうだと言われるから嫌いになるのです。子供の表現活動に不必要な価値観を与えているのは大人なのです。

作品作りで大事にしたいのは、「また作りたい」という気持ちにさせることです。うまい、下手は技術です。技術はこれからいくらかでも上達します。だから今、技術を教える必要はありません。問題は作りたい気持ちを起こさせることです。

だから、子供たちの表現活動について、大人は基本、全部褒めたほうがいいのです。すると、子供に自己肯定感をもたせることができます。自己肯定感とは、先生に認められているとか、親に愛されていると実感できたときにもてる感情です。そうすると自分が好きになります。これが大事で、自分を好きになると何でも自分でやりたいという意欲が出てきます。やりたいことだらけになると創造力が出てきます。創造力というのは、やりたいことがやれる力。だから創造活動をする子供はイキイキとしています。

展覧会の作品は、そのようにイキイキとして作られた力作がそろっています。そして子供たちの一つ一つの作品には、そのお子さんの想いが表現されています。作品からその子供たちの気持ちをぜひ読み取っていただきたいと思います。展覧会の2日間はいつもの幼稚園が子供美術館に大変身します。どうぞ、楽しみにしててください。

そして、お越しの際には大いに子供たちの作品を褒めて（驚いて）あげてください。大勢の皆様のご来園をお待ちしております。



お化け汽車にドアを作る5歳児



みんなで作った「ほんむらおばけゆうえんち」